

名古屋
開催!

Seminar Information

現場に伝わる コンプライアンス

大手企業の不祥事により、コンプライアンスの要求が高まり、
担当者の業務負担と責任はますます重くなっています。
限られたリソースのなかで、いかに優先順位をつけた、
メリハリのついたコンプライアンス施策を実施すればいいでしょうか。
また、現場の担当者や作業員にまでコンプライアンス意識を浸透させるには、
どのような工夫が求められるのでしょうか。
本セミナーでは、企業におけるコンプライアンス担当者の役割を明確にしたうえで、
上記の問題意識に基づいて、
想定事例を使いながら具体的な対応を検討します(ワークショップ形式)。



program

1. コンプライアンス担当者の役割
2. 現場にコンプライアンス意識を浸透させる工夫
3. 事例検討ワークショップ
(労務コンプライアンス・データ改ざん・内部通報等)

深水 大輔 氏 長島大野常松法律事務所 弁護士

2008年長島・大野・常松法律事務所入所。2012年に公認不正検査士資格を取得。2015年には英国 King's College LondonにてEU競争法を学び、その後、Kirkland & Ellis LLPのシカゴオフィスにて、米国独禁法やホワイトカラークライムの分野を中心とした1年間の研修を経て2016年10月帰国。主に、危機管理・企業不祥事対応、コンプライアンス、独禁法、金融レギュレーション等を取り扱っている。

- 対象 コンプライアンス担当、法務、リスク担当、内部監査、経営者、役員等
- 定員 40名 参加費用 16,200円(税込)
- 主催 レクシスネクシス・ジャパン株式会社
- 問い合わせ先 レクシスネクシス・ジャパン株式会社 広告・出版部セミナー担当
seminar@lexisnexus.co.jp

日時

2017.12.12 日
14:30-17:00 (受付開始14:00)

会場

安保ホール
(名古屋市市中村区名駅3-15-9)
JR名古屋駅 徒歩3分
名鉄名古屋駅 徒歩4分
近鉄名古屋駅 徒歩4分
地下鉄各線名古屋駅 徒歩2分

※内容は一部変更になる場合があります



LexisNexis®

お申し込みは
webサイトから

<http://www.lexis-seminar.jp/>

詳しくは レクシス セミナー

検索